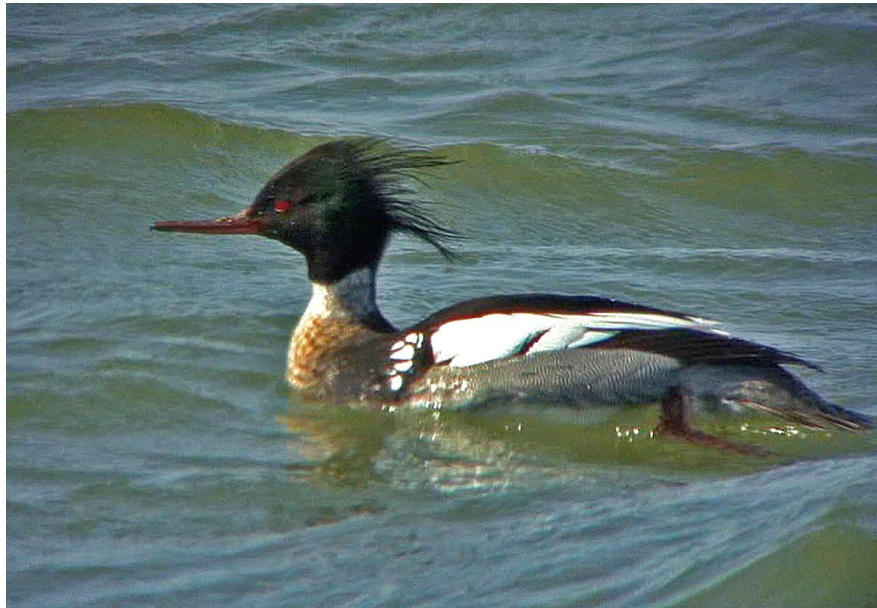


ウミアイサ（カモ科） 全長55センチ

ウミアイサは大仙市のような内陸部では殆ど見かけることはありません。

4月上旬、男鹿市の船川水道で数十羽のウミアイサを観察しました。なぜかこの時季だけ群れになり飛来し、最大で300から500くらいの大集団となるそうです。

ここは渡りの途中の「鴨の駅」みたいな場所とも言われています。季節がら水道を遡上する小魚を狙っているのでしょう。



ぼさぼさ伸ばした髪の毛のように見える冠羽が特徴。オス。

内陸部で観察されるカワアイサとよく似ているが、ウミアイサはぼさぼさした冠羽があり区別されます。アイサ類は他のカモ類よりも潜水に適応した体型で、脚は身体の後ろの方についているため歩くのは上手くないが、潜水は巧みです。



潜水により魚を捕らえる技は1級品です。メス。



頻繁に潜ってしまうので、撮影も苦労します。

数羽のオスが1羽のメスを取り囲み、首を伸ばしたりお辞儀をするように頭を水中に入れる行動が見られたが、つがいを形成するためのディスプレイのようです。

今頃は、はるか北方の繁殖地に向け移動を続けていることでしょう。



群れから離れた2羽は、仲がいいようです。



正面から見ると頭は扁平でした。